

How To 似顔絵



Vol.1

村川 正敏

はじめに

はじめに

この巻では、ある女優さんを描いています。名前をあえて明かしません。

先にその名前を明かすと、先入観で、あまり似ていなくても似ていると感じてしまう、それが似顔絵のトリックでもあります。

この本ではそのトリックを使わず、似ているか否かを問う、こちらからのチャレンジでもあります。完成した作品がその答えとなります。

また、この本は、似顔絵や人物画を描いてみたい人への、手順の参考書にもなっています。

画材はさまざまなもので応用可能ですが、追求するところは同じです。紙と鉛筆、画用紙と絵の具・パステル・クレヨン、イラストボードにエアブラシ、キャンバスに油絵の具、パソコンにペンタブレットといろいろあります。いずれも、手を運んで描くのは同じです。パソコンで描くとしても、自動や半自動で描いてくれるわけではなく、そこはやはり、手の技術が必要です。

パソコンは確かに便利で、作業効率もいいですが、それに甘える形になっては上達は望めません。これから絵を学びたい方は、できるなら、紙と鉛筆でたくさん描くことをお勧めします。

私もずいぶん、紙と鉛筆、イラストボードにエアブラシで、たくさんの方々を描かせていただきました。そのひとつの結果がここにあると言っていいでしょう。

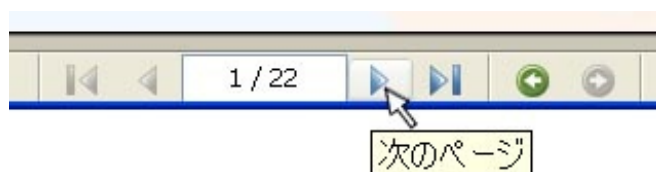
それでは、どうぞらんください。

この本の読み方

この本は、内容のほとんどが絵(画像)で占められています。

PDFリーダーで読む場合は、表示>ページレイアウトを“連続ページ”にし、【次のページ】ボタンをクリックすると、コマ送りで連続的な変化を見ることができます。(下の図は、Adobe Reader 7.0 の場合)

【前のページ】ボタンでは、順序を逆にたどることができます。



各工程には、作業のポイントや注意点などが書かれていますので、ページの進みをストップしてお読みください。

STEP 0

白紙の用紙です。

横にモデルになる写真を置き、紙にどう描くか頭の中でイメージをふくらませます。

Vol.1 STEP 1

STEP 1

おおまかにアタリを描きます。



なるべく、薄い線を描きます。最終的にこの線は、消すこととなります。
顔の中心、目と眉の位置、鼻、口の位置をおおよその見当で入れておきます。

STEP 2

あごの輪郭から描き進めます。



人によっては、いきなり目から描き始める人もいますが、紙にうまく収めるには輪郭から押さえて行くのがベストです。やり方は、それぞれの流儀なので、さまざまあっていいと思います。

ここからの工程は、かなり要約したものになっています。実際は、もっと細かな作業が必要です。描いたり消したりしながら、求める線を紙に残していく、そんな感じの作業になります。

STEP 3

顔の輪郭を固めます。



目のくぼみ、頬のふくらみ、あごの長さなどに気を配ります。

STEP 4

耳の輪郭を描きます。



目や鼻との、高さ、位置関係に注意します。

STEP 5

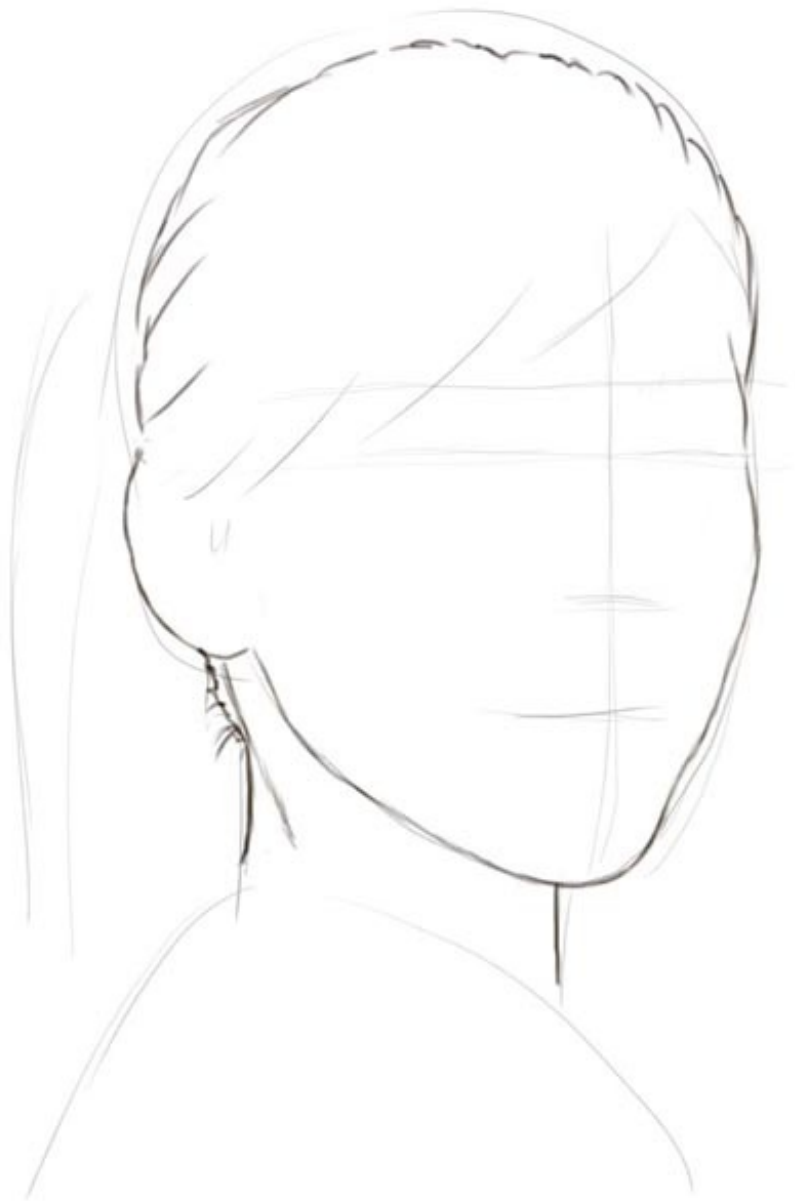
首を描きます。



モデルは女性なので、あまり太すぎないように。場合によっては、モデルの写真より細くすることもあります。

STEP 6

髪のパウチを描きます。



ポニーテールなので、頭の形に沿って、後ろに回り込む感じが出ればグッドです。

STEP 7

前髪を描きます。



前髪の流れを的確にとらえます。ボリューム感を出すため、強弱や線の太さに気を配ります。



位置関係とボリュームに気をつけます。顔の角度によっては、頭の裏に隠れて写真に写っていないかもしれませんが、そんな時は、髪型を強調し、見える位置にデフォルメして描くこともあります。



服の輪郭は、細部にこだわり過ぎず、思い切りのいい線で描きます。ただし、骨格をくずさないように。

小鼻と鼻の穴を描きます。



位置関係と、線の強弱に気を配ります。ここからは、かなり繊細な工程が続きます。

STEP 11

鼻筋と、周囲の細かなしわや凹凸を描きます。



線の強弱によって、鋭い鼻筋か、なだらかな鼻筋か、感じが違ってくるので注意深く。斜めの角度は比較的、楽です。

STEP 12

口を描きます。



口の真ん中と、口角のバランスに注意します。鼻とは逆に、斜めの角度は難易度が高いです。



線が太いと唇は厚ぼったく、歯は汚い感じになるので、線を細く繊細に描きます。



眉には一本一本の配列の規則性があります。写真ではそれがわかりにくいものも多く、悩ましいものですが、過去の作品の記憶を加味してそれらしく描きます。シルエットを大事に、おおらかに描きます。



最大の山場です。ここで失敗すると、今までの作業を台無しにしてしまいます。それをいやがって、先に目を描く人がいるのでしょうか。

大きさ、位置関係、左右の開き、つり具合たれ具合、二重か一重かなど、気を配る点がたくさんあります。



目は線の幅1本ずれても表情が変わります。まつ毛は、生える方向や長さが1本1本違います。かなり繊細な作業です。

そろそろ、だれかわかって来ましたか？



黒目の虹彩を、ひだひだの感じが出るように、放射状の線で描きます。表情が、かなりはっきりしてきましたね。



髪の毛の流れを気にしながら、細部を描きます。描いた線は、彩色をすると目立たなくなるので、色を塗るときのガイドの役割が強いです。



フリルの感じが生き生きとなるよう、リズムよくためらわず描きます。もう一息。



服の立体感を意識して、うるさくない程度にしわを入れます。線描はこれにて、終了です。



最初に描いた、アタリの線を、必要な線を消さないように注意しながら消します。線画の完成です。

ただ、このままでは、今ひとつ本人らしく見えないんですね。不思議なことに。

色をつけると、これが劇的に似てきます。逆に、色付けを失敗すると、別人にもなってしまいますが・・・。

STEP 22

一部を彩色。ごめんなさい、無料本での紹介はここまでです。

仕上がりは [こちら](#) →



髪の毛を塗ります。流れと光の当たり具合を意識しますが、写真にとらわれず、独自の解釈を加えて存在感を高めます。

これ以降の工程は、企業秘密も含まれます(大げさ?)ので、公開いたしません。完成した作品は、上のリンクから入り、【新作】のメニューから確認できます。